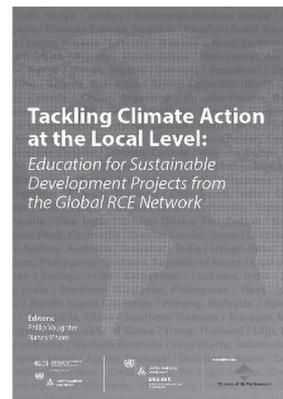


地域レベルにおける気候変動対策

グローバルRCEネットワークにおける 持続可能な開発のための教育(ESD)プロジェクト

「地域レベルにおける気候変動対策：グローバルRCEネットワークにおけるESDプロジェクト」と題した本出版物は、気候変動の緩和・適応に向けた実践力を育むために世界各地のRCE（国連大学が認定するESDに関する地域の拠点）が地域コミュニティにおいて実践するESDのうち、12件の優れた事例を紹介している。プロジェクト推進のきっかけや理由、課題、知識と行動の必要性を効果的に伝えるための教訓などが掲載されており、読者が自身のコミュニティにおいて気候変動対策のためのESDを実践する際のヒントになる。

例えば、RCE東ウガンダ広域圏では、教師と生徒が教室を離れ、近隣の二酸化炭素の排出量あるいは吸収量の多い場所を実際に訪れて授業を行っており、学校のみならずコミュニティ全体における学びや行動につながっている。RCEベラルーシは首都ミンスク市において、気候にやさしい都市づくりについての啓発や研修などを通じ、気候変動の緩和や適応に関する計画の策定や実践における市民の参画を促している。また、RCEアトランタ広域圏は、農家と協力し、気候変動により上昇する気温や湿度から労働者の健康を守

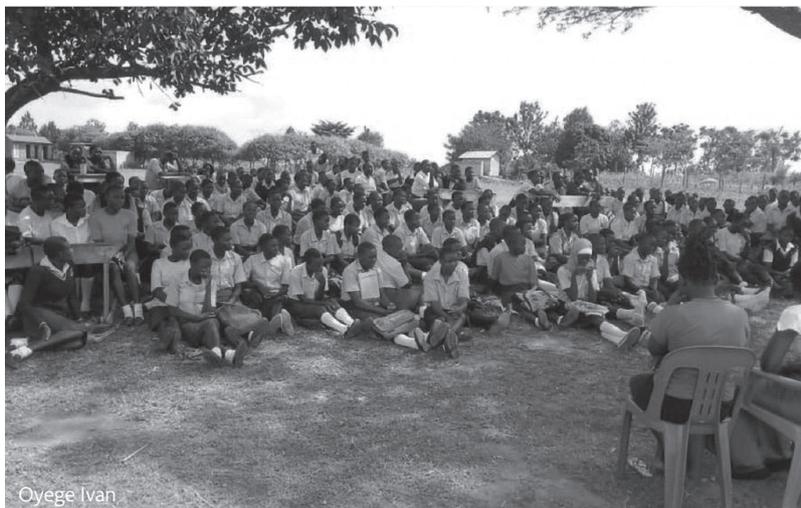


「地域レベルにおける気候変動対策：グローバルRCEネットワークにおけるESDプロジェクト」
https://rcenetwork.org/portal/sites/default/files/flipping_book/climate_projects.html
 RCE(ESDに関する地域の拠点)
<https://www.rcenetwork.org/portal/>

る方法について調査を行い、改善に向けた研修や取組を行っている。

その他にも、様々なツールを活用したプロジェクトが紹介されている。RCE岡山は、バーチャル・リアリティの技術を活用しており、イベントに参加する小中高生はパラオの観察地における気温や二酸化炭素濃度のデータをリアルタイムで観測することができる。RCEデンマークは、大工を目指す学生が建築分野における温室効果ガス削減について学び、実習で応用している。また、RCEボゴタは、主に若者を対象とし、ワークショップやソーシャルメディアを活用したノン

フォーマル教育を通じて、低炭素で持続可能なライフスタイルを推進している。これらの事例は、気候変動対策のために、教育を通じて、知識を行動に転換する様々な方法を理解する際の参考になる。本出版物が、世界のより多くの地域コミュニティにおいて気候変動教育が推進されるきっかけになることを期待する。



Oyege Ivan

RCE東ウガンダ広域圏